2020年３月期　第２四半期決算説明資料

2019年11月14日

ヒューマンホールディングス株式会社

（証券コード：2415）

1.連結決算概要　-エグゼクティブサマリー-

連結売上高

42,585百万円

前期比：＋**2.5%**　**増収**

計画比：▲1.1%　概ね順調に推移

連結営業利益

963百万円

前期比：＋**10.8%**　**増益**

計画比：＋**41.8%**　**達成**

親会社株主に帰属する四半期純利益

430百万円

前期比：▲15.4%

※教育事業の拠点減損などの影響による

計画比：＋**39.4%**　**達成**

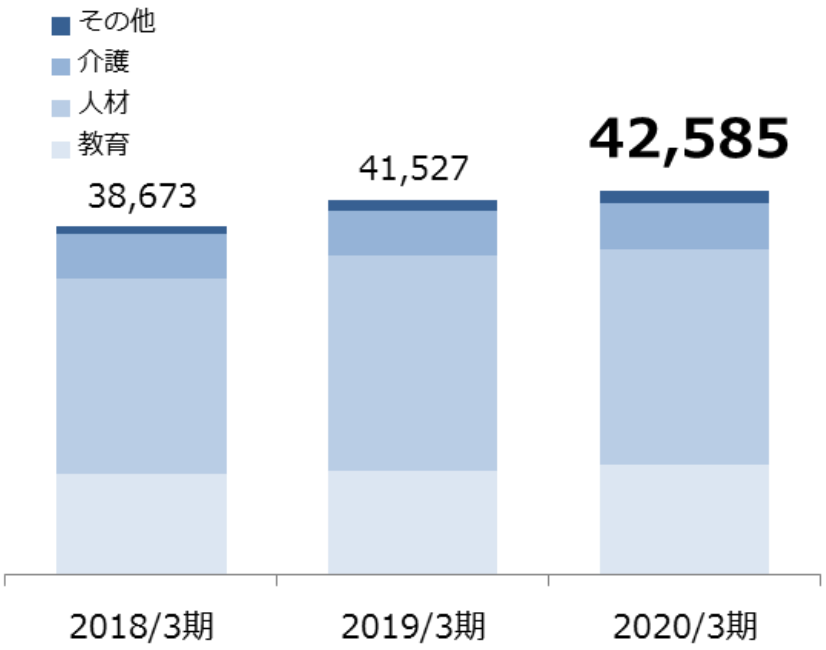
✓教育事業は**全日制教育事業が好調**

✓介護事業は**施設利用者数が好調**に推移

1.連結決算概要 - セグメント別増減要因（連結売上高） -

連結売上高推移

（単位：百万円）



連結売上高 42,585百万円　前年同期比+2.5%

人材セグメント　（ 23,839百万円　前年同期比+0.0%)

主に第１Qにおける稼働日数が減少したことなどにより
人材派遣事業は減収となるものの、RPAの売上などが好調
に推移し増収

教育セグメント　（ 12,269百万円　前年同期比+5.6%)

主に全日制教育事業においてゲームカレッジが好調、
また、児童教育事業のロボット教室において、プログラミング
要素を加えリニューアルしたコースの入会が順調に推移し増収

介護セグメント　（ 5,102百万円　前年同期比+3.6%)

「グループホーム」「小規模多機能」「デイサービス」の
利用者数が増加
前期開設した事業所の利用者も順調に推移

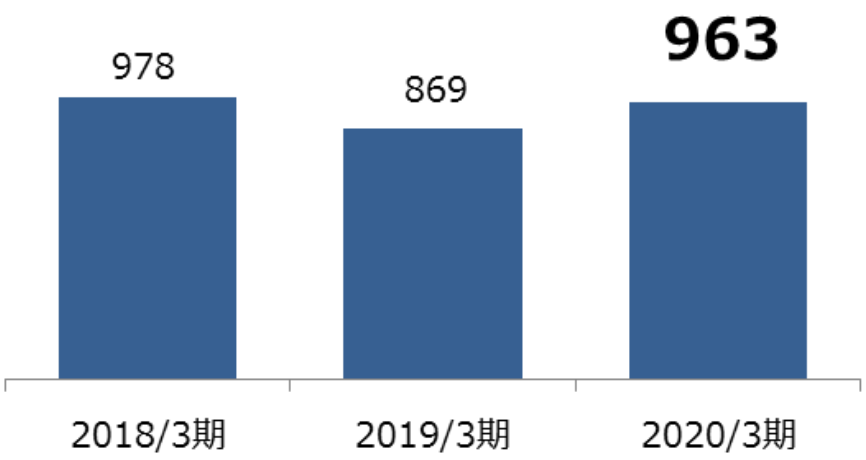
その他セグメント（ 1,365百万円　前年同期比+19.6%)

IT事業において受注が好調に推移し増収

1.連結決算概要　- セグメント別増減要因（連結営業利益）-

連結営業利益推移

（単位：百万円）



連結営業利益　963百万円　前年同期比＋10.8%

人材セグメント　（　85百万円　前年同期比　▲72.4%)

主に第１Qにおける稼働日数が減少したことなどによる人材派遣事業の減収、また、人件費やシステム費用、海外ＩＴエンジニア募集強化に伴う費用が増加し減益

教育セグメント　（ 591百万円　前年同期比 ＋88.1%)

増収に加え、広告費・販促費などのコスト効率を見直し損益が改善し増益

介護セグメント　（ 222百万円　前年同期比 ＋34.8%)

増収に加え、適正人員配置による運営の効率化、機能訓練加算取得による単価の向上などの効果が引き続き継続していることにより増益

その他セグメント（ ▲47百万円　前年同期比　＋20百万円）

2019年4月に営業開始をした和食事業立ち上げに伴う経費の増加があるものの、IT事業において受注増や、受注管理などの管理体制強化をしたことによる損益改善により増益

2.連結決算予想　-エグゼクティブサマリー-

➢ 連結売上高	８９，９０９百万円	前年同期比 +6.6%
➢ 連結営業利益	2，２８３百万円	前年同期比 +8.2%
➢ 親会社株主に帰属する当期純利益	１，２９１百万円	前年同期比 +6.0%

2019年5月15日発表の通期業績予想と変更はなし

第２Qにおける利益計画は達成となりましたが、第３Q以降の経費計画や外部環境の不透明さなどを鑑みて当初業績予想を据え置き

本資料に記載されている、業績予想や将来予測等は、リスクや不確定要素を含みます。
実際の業績や結果は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。
当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではございません。

【お問合せ先】
ヒューマンホールディングス株式会社　経営企画室
TEL　：03-6846-8002
E-mail：sougoukikaku@athuman.com